

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																
麻生外語観光&製菓専門学校		平成3年1月8日		竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 092-415-2293																
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999																
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																	
商業実務	商業実践専門課程	トラベル科		平成29年文部科学省 告示第30号	-																	
学科の目的	多様化する観光業界で必要とされる専門知識、専門資格、技能を備え、実社会で通用する人材の育成を目標とする。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技															
2年	昼間	1719時間	1380時間	420時間	80時間	0時間	148時間															
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
80人	39人	4人	1人	17人	18人																	
学期制度	■前期:4月1日~8月31日 ■後期:9月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価																	
長期休み	■夏季:8月11日~9月8日 ■冬季:12月21日~1月8日 ■春季:3月10日~4月5日			卒業・進級 条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度																	
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ガイダンスの実施。 学科責任者との面談、三者面談の実施。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有																	
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) 航空、鉄道、船舶、旅行、ホテル等 ■就職指導内容 希望する業界(企業)と個々の適正を見定め、指導、助言を与える。			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業者に係る令和元年5月1日時点の情報)																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内旅行業務取扱管理者</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>総合旅行業務取扱管理者</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>国内旅程管理主任者</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>アマデウスシステム検定 中級(Air Expert)</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	国内旅行業務取扱管理者	③	21人	10人	総合旅行業務取扱管理者	③	21人	1人	国内旅程管理主任者	③	21人	21人	アマデウスシステム検定 中級(Air Expert)	③
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																			
国内旅行業務取扱管理者	③	21人	10人																			
総合旅行業務取扱管理者	③	21人	1人																			
国内旅程管理主任者	③	21人	21人																			
アマデウスシステム検定 中級(Air Expert)	③	21人	19人																			
中途退学 の現状	■中途退学者 1名 平成30年5月1日時点において、在学者39名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者38名(平成31年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更等による			■中退率 2.6%																		
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 東日本大震災により被災して進学が困難になった者を対象に、入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 0人																					
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																					
当該学科の ホームページ URL	http://www.asoiuku.ac.jp/aftc/subject/tourism/																					

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により、実践的かつ専門的な職業教育を実践することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生を対象とする「お客様アンケート」結果による企業視点を軸とし、旅行、鉄道業界において必要とされる知識・技術の修得を目指す。

実践の機会として設定するインターンシップでは、職業像と必要適性を明確にし、各自の具体的なキャリアプランを構築するための取り組みとする。また実務を経験し、適切な指導・評価を受けることで学内での学習との相乗効果を図る。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

専攻分野における市場動向や地域産業振興の方向性等に関する意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とし、教育課程編成委員会を設置する。尚、委員会では、次に掲げる事項を審議する。

- (1) カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2) 各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3) 教科書・教材の選定に関する事項
- (4) その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

カリキュラム会議では、教育課程編成委員会の審議内容を基に、授業科目の改善や新規開設、授業内容や授業方法の改善を検討する。これにより専攻分野で必要とされる知識・技能の修得を可能とする質の高い教育の提供を目指す。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
野中 昌	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	①
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	①
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
細溝 亮太	株式会社 JTB九州 福岡在中 人事チーム グループリーダー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
三笥 秀一郎	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
若松 昌枝	麻生外語観光&製菓専門学校 トラベル科専任教員	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時(実績))

平成30年度 第1回 平成30年6月20日 16:00～16:40

平成30年度 第2回 平成30年10月17日 15:30～16:10

令和1年度 第1回 令和1年6月12日 15:30～16:10

(開催日時(予定))

令和1年度 第2回 令和1年10月16日 15:30～16:10

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

より多角的な観光資源知識として地理の幅広い学習が必要であるという意見を受け、1、2年次に世界遺産をテーマとした地理分野のカリキュラムをそれぞれ追加。また、業界の現状に沿った学習が重要であるという委員会での見解を考慮し、従来のインバウンド系カリキュラムにクルーズ船での訪日観光の内容を追加。さらに、社会人基礎力の向上を図るため、コンプライアンスに関する内容を学習できるカリキュラムを取り入れることとした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術および技能を教授し、就職に必要な実践的、かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。

その内容については、旅行・鉄道業界において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。

<p>(2) 実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記</p> <p>学校と企業とが締結している契約書に基づいて、授業内容や評価基準等を事前の話し合いにより決定する。授業は企業より派遣された講師が担当し、実際の旅行パンフレットを使用し、その情報の分析や販売時における要点、販売手法を習得させる。また、講師は学生の習得状況や理解度を踏まえ、事前に設定した評価基準に則り評価を行う。</p>											
<p>(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>科目概要</th> <th>連携企業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外商品分析</td> <td>海外旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。</td> <td>株式会社トップスタッフ</td> </tr> <tr> <td>国内商品分析</td> <td>国内旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。</td> <td>株式会社トップスタッフ</td> </tr> </tbody> </table>			科目名	科目概要	連携企業等	海外商品分析	海外旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。	株式会社トップスタッフ	国内商品分析	国内旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。	株式会社トップスタッフ
科目名	科目概要	連携企業等									
海外商品分析	海外旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。	株式会社トップスタッフ									
国内商品分析	国内旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。	株式会社トップスタッフ									
<p>3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係</p>											
<p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針</p> <p>教職員に対して、現在就いている職務又は将来就くことが予想される、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。</p>											
<p>(2) 研修等の実績</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名: JTB総合研究所意見交換会 連携企業等: JTB総合研究所 期間: 平成30年12月13日(木) 対象(参加者): 三笥秀一郎 内容: 今年度の国内旅行業務取扱管理者試験及び総合旅行業務取扱管理者試験の特徴と傾向と次年度授業の考察</p> <p>研修名: 第25回新学期研究会 連携企業等: JTB総合研究所 期間: 平成31年3月1日(金) 対象(参加者): 三笥秀一郎 内容: 第1部: 2019年度テキスト改訂概要 第2部: 外国人留学生の動向と課題</p> <p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名: インストラクショナルデザインⅡ 連携企業等: 一般社団法人全国専門学校教育研究会 期間: 平成30年8月29日(水) 対象(参加者): 三笥秀一郎 内容: 育成人材像に基づいた体系的カリキュラムの構築を習得する 3ポリシーについて、学科目標・教科目標の整理、学科カリキュラムの見直し・改善</p>											
<p>(3) 研修等の計画</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名: 第26回新学期研究会 連携企業等: JTB総合研究所 期間: 令和2年3月 対象(参加者): 若松昌枝 内容: 第1部: 2019年度テキスト改訂概要 第2部: 外国人留学生の動向と課題</p> <p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名: コーチング実践 連携企業等: 組織デザイン・ラボ 期間: 令和2年2月19日(水) 対象(参加者): 若松昌枝 内容: 学生のやる気と能力を引き出すコーチングの基本スキル(傾聴・質問・承認)について、ロールプレイングを通して学ぶ</p>											
<p>4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係</p>											
<p>(1) 学校関係者評価の基本方針</p> <p>本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。</p>											

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5)学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路コース把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11)国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

業界において活躍できる人材になるには、専門知識だけではなく、法令等の遵守(個人情報の取扱、Webサイト上の著作権等)に関する感覚を養い、理解をしておく必要があるとのご意見を頂いた。そのため、社会人スタートを前に2年次の授業において、コンプライアンスの内容を含めた授業科目を新設することとした。また、即戦力技能習得のため、新たに旅行予約端末(INFINI)の設備を整え、カリキュラムにも反映させた。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
溝口 敦子	保護者	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	PTA
堀部 豊和	卒業生	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	地域住民
甲斐 直樹	福岡県立嘉穂東高等学校 校長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	高校関係者
野中 昌	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
長 加奈子	福岡大学 准教授	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
小野 聡之	九州B.M.C. 常任相談役兼副会長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事、事務局長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	その他
翁林 友子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課 マネージャー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
岸上 昌仁	ANA福岡空港株式会社 貨物・グランドサービス部 ライトハンドリング課 マネージャー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
小林 俊裕	日本通運株式会社 福岡支店 九州グローバルロジスティクス企画 次長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
金 大義	(株)韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
千々岩 朋子	ヒルトン福岡シーホーク 副総支配人-人事業務担当	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
大屋 寿	株式会社 ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
細溝 亮太	株式会社 JTB九州 福岡在中 人事チーム グループリーダー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
安藤 大介	高見株式会社 コスチュームDiv.九州 営業部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
山下 輝美朗	株式会社 石村萬盛堂 製造本部新宮工場 工場長洋菓子部次長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員

廣瀬 義幸	ベイ・バスク オーナーシェフ	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
西藤 未来	株式会社 ディアーズ・ブレイン 人材開発部	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
工藤 由美子	株式会社QQEnglish 営業第3グループ エキスパートマネージャー	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())
<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aftc/2019/hyoka.pdf/>
 公表時期: 令和1年7月22日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
 本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方、6つの特徴
(2) 各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報
(3) 教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6) 学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7) 学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援、各種支援制度
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育、海外での大学教育
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法
ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())
<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程トラベル科) 平成31年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			旅行業法	旅行業を営むための条件や旅行者と契約を締結する際の規則など旅行業における法律を学び、実務レベルで必要な知識の習得を目的と国家試験合格を目指す。	1前	60	4	○			○			○	
○			旅行業約款・各種約款	国家試験科目である、旅行業と旅行者の取消料や責任範囲など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	60	4	○	△		○			○	
○			国内地理対策	国家試験科目であり、観光地・お土産・名物料理など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	60	4	○			○			○	
○			国内運賃料金	国家試験科目である、JR・航空・バス・フェリー・宿泊などの運賃/料金計算や払い戻しなど専門科目を学び国家試験合格を目指す。	1前	60	4	○	△		○			○	
○			出入国基礎	国家試験科目である、旅券の申請・受領や検疫、免税品など専門科目を学び、実務知識の習得と国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○			○	
○			海外観光地理Ⅰ	国家試験科目である、首都や観光地、観光資源など専門科目を学び、実務知識の習得と国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○	△		○			○	
○			世界遺産地理Ⅰ	日本の世界遺産を中心とした観光地理資源を学ぶ ※希望制で世界遺産検定を受検	1後	30	2	○			○			○	
○			観光概論	学科が目指すべき業界の業務内容・職種・企業の研究を行い、自身の就職活動の方向性を認識させ、次年度の就職活動に活かす。	1後	15	1	○			○			○	
○			観光演習	時刻表（JR・航空）などを活用し、お客様に対する的確な情報伝達手段を取得し、地図を活用した基礎的なプランニングについて学ぶ。	1後	30	2	△	○		○			○	
○			観光英語A	観光英語検定の内容をベースにした英語学習。併せて旅行業界で必要なビジネス英語知識の基礎を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			観光英語B	観光英語検定取得を軸に置き、旅行業界で必要なビジネス英語をより広く学習。	1後	30	2	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			国内研修	長距離フェリーを使用し、0泊3日の研修旅行を関西にて実施。現地滞在中の研修プログラムは出発前にグループワークにて作成し、所要時間など現場で検証し実務について学ぶ。	1前	24	0	△		○	○	○			
○			INFINI	航空券予約、運賃計算、発券方法等についてインフィニを操作し出来るようになる。またINFINI予約運賃中級検定を取得する	1後	45	3	△	○		○		○		
○			取扱管理者合宿	夏季補講の後半に集中講義の一環として、2泊3日の合宿を実施。主に地理などの苦手分野の集中講義を実施し、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○				○	○		
	○		添乗実務	添乗員の資格である、旅程管理主任者試験の学科科目について学び、試験対策をし、業務内容や業務の流れについて理解する。 ※添乗実務、鉄道業界概論のいずれか1科目を選択。	1後	45	3	○	△		○				○
	○		鉄道業界概論	鉄道業界を中心にJR各社の特徴や私鉄の種類を学習。また、就職活動を見据えた鉄道業界の知識を深める。 ※添乗実務、鉄道業界概論のいずれか1科目を選択。	1後	45	3	○	△		○				○
		○	海外研修	日本人の人気渡航先で、福岡から直行便が出ている東南アジアを目的地として設定。現地滞在中の研修プログラムは出発前にグループワークにて作成し、所要時間など現場で検証し実務について学ぶ。	1後	64	1	△		○		○	○		
		○	総合旅行業務取扱管理者対策補講Ⅰ	国家試験対策として、国際航空運賃、出入国実務、海外実務、海外観光資源の再学習を行い資格取得を目指す。	1後	30	2	○			○		○		
○			一般教養ⅠA	国語・数学・社会（時事）・英語を総合的に学習し、一般常識について復習する。	1前	30	2	○			○				○
○			一般教養ⅠB	国語・数学・社会（時事）・英語を総合的に学習し、一般常識について復習する。1年次より就職試験を意識させ動機付けに繋げる。	1後	30	2	○			○				○
○			コミュニケーション技法	お客様と積極的に話すこと、自分の意見や相手の意見を聞き入れることなど基本スキルを学び、「話す」「聞く」など表現する方法を学ぶ。	1後	30	2	○			○				○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			WORD	タッチタイピングの習得、サーティファイWord文書処理技能認定試験3級合格を目指す。	1前	45	3	△	○		○			○		
○			EXCEL	表計算の基礎を学び、サーティファイExcel表計算処理技能認定試験3級合格を目指す。	1後	45	3	△	○		○				○	
○			ペン字	日常生活における硬筆書写の一般知識、理解を深め、業務遂行時に実践できる基礎力を習得する。また正しいペンの持ち方や、姿勢を守り書写することで集中力を養う。	1後	30	2	△		○	○				○	
○			ビジネス実務I	社会人として必要な基礎知識（心構え、立ち振る舞い、電話対応、接遇マナーなど）を習得する。	1後	30	2	○		△	○				○	
○			社会教養IA	履歴書の作成、企業研究、面接対策、就職活動の基本を理解する。また、企業の採用動向、求められる人材、自己分析の仕方などを理解し、就職に繋げる。（前期）	1前	30	2	○	△		○				○	
○			社会教養IB	履歴書の作成、企業研究、面接対策、就職活動の基本を理解する。また、企業の採用動向、求められる人材、自己分析の仕方などを理解し、就職に繋げる。（後期）	1後	30	2	○			○				○	
○			GCB1	人間力を高めるマナー教育を通し、依存から自立へ、社会人になるための準備を行う。	1前	15	1	○	△		○				○	
		○	実用英語対策I	実用英語検定の各級を取得できるレベルの英語力を身につける（1年次）	1後	30	2	○			○				○	
		○	企業インターンシップ	旅行業界の現場において、実際の業務に触れることで職業観を養う。	1後	80	2				○		○		○	
○			海外プランニング実務	旅行業界で海外のパンフレット作成の際に必要なプランニングの知識・技術を身につけ、業界就職の際に現場で活かす。	2前	30	2	△	○		○				○	
○			観光業界時事	観光業界の現状と今後の展望について学び、旅行業に限らず、航空・鉄道・バスなど旅行を構成する業界の現状について理解する。	2前	30	2	○	△		○				○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			海外観光地理ⅡA	ヨーロッパエリアを中心に現場で必要な観光地・お土産・名物料理など映像を使用しながら、様々な切り口で現地を学ぶ。	2前	30	2	○			○			○	
○			海外観光地理ⅡB	アジアエリアを中心に現場で必要な観光地・お土産・名物料理など映像を使用しながら、様々な切り口で現地を学ぶ。(後期)	2後	30	2	○			○			○	
○			観光実地研究	クラス行事となる日帰り研修旅行の行程・見積り作成後、クラス内でのプレゼンテーションを実施。プラン決定後、学生主体で旅行を実施し、一連の業務の流れを学ぶ。	2後	15	1	△	○		○			○	
○			世界遺産地理Ⅱ	海外の世界遺産を中心とした海外観光地理資源を学ぶ。 ※希望制で世界遺産検定を受検	1後	30	2	○			○			○	
○			海外商品分析	海外旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げる	2前	30	2		○		○			○	○
○			国内商品分析	国内旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げる	2後	30	2		○		○			○	○
○			カウンター接 遇演習	旅行業における実践的なカウンターでの接客技術を学ぶ。	2前	30	2	△	○		○			○	
○			AMADEU S	航空券予約、運賃計算、発券方法等についてアマデウスアルティアを操作し出来るようになる。またSpecialistを取得する。	2前	45	3	△	○		○			○	
○			国内プラン ニング実務	旅行業界で国内のパンフレット作成の際に必要なプランニングの知識・技術を身につけ、業界就職の際に現場で活かす。	2後	15	1	△	○		○			○	
○			インバウンド 概論	旅行業界におけるインバウンド事業の内容と現状を学習する。	2後	30	2	○			○			○	
○			ディスプレイ 演習	店舗づくり、POP、パンフレットの作成技術を学ぶ。	2後	30	2		○		○			○	
○			業界ビジネス 英語A	添乗業務や予約業務等の旅行業界で業務をしていく様々な場面を想定し、必要な英語知識を学習。(前期)	2前	30	2	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			業界ビジネス英語B	添乗業務や予約業務等の旅行業界で業務をしていく様々な場面を想定し、必要な英語知識を学習。（後期）	2後	30	2	○			○			○	
○			インターネット旅行情報検索	インターネットの基礎知識を学び、旅行情報を収集、整理、資料作成の技術を習得する。	2後	30	2	○	△		○			○	
○			ニューツーリズム概論	グリーンツーリズムを中心にエコツアー、産業観光など、様々な旅行形態の概要を知る。	2前	30	2	○	△		○				○
○			セールス実務	営業職に限らず、旅行業でのカウンターや広く接客業での最低限の知識を身につけ、社会に役立つスキルを身につける。	2後	30	2	○	△		○				○
		○	総合旅行業務取扱管理者対策補講Ⅱ	国家試験対策として、国際航空運賃、出入国実務、海外実務の再学習を行い資格取得を目指す。	2前	30	2	○			○			○	
○			旅行業実務	仕事上重要なコンプライアンスの知識、現場に必要な最低限の観光地・お土産・名物料理などの内容を再学習する。	2後	30	2	○			○				○
○			一般教養ⅡA	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社試験において一般常識試験に対応できる応用力を養成。	2前	30	2	○			○				○
○			一般教養ⅡB	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社後において必要な一般知識の学習。	2後	15	1	○			○				○
○			ビジネス文書	仕事上で必要なビジネス文書の基礎を学び、ビジネス文書検定の取得を目指す。	2前	30	2	○			○				○
○			手話入門	基本的な手話を習得し、聴覚障害者とのコミュニケーションが図れるようになる。	2前	30	2	△		○	○				○
○			ビジネス実務Ⅱ	ビジネス実務検定(ジョブパス)対策を通して、現場で活用できるビジネススキルを身につける。	2前	30	2	○	△		○				○
○			社会教養ⅡA	履歴書の作成、企業研究、面接対策、就職活動の基本を理解する。また、企業の採用動向、求められる人材、自己分析の仕方などを理解し、就職に繋げる。	2前	30	2	○	△		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			社会教養ⅡB	履歴書の作成、企業研究、面接対策、就職活動の基本を理解する。また、企業の採用動向、求められる人材、自己分析の仕方などを理解し、就職に繋げる。	2後	30	2	○	△		○		○		
○			サービス介助	高齢者の方々、お体の不自由な方々に対するサービスにおいて、ケアの基本的動作を勉強し、社会に役立つサービススキルを学ぶ。	2後	30	2	△	○		○			○	
○			韓国語基礎	ハングル文字等、韓国語の基礎を学び、簡単な日常会話レベルの韓国語習得を目指す。	2前	30	2	○			○				○
○			GCBⅡ	就職動機や将来のキャリアビジョンを自分の言葉で表現できるように志を立てていく土台を築かせる。	2前	15	1	○	△		○			○	
		○	実用英語対策Ⅱ	実用英語検定の各級を取得できるレベルの英語力を身につける（2年次）	2後	30	2	○			○				○
合計				61科目											1719単位時間(113単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度	1学期の授業期間	I 5週